

歴史部会プロジェクト研究報告「市場の地域性」

1. 目的・活動内容

歴史部会プロジェクト研究では、専任教員・助教、兼任講師、大学院生を中心に「市場の地域性」というテーマを設定し、これまで研究を継続してきた。テーマに掲げた「市場の地域性」とは、近代以降の経済社会の展開に関して、「地域」と「市場」のキーワードから明らかにすることである。2015年度は、日本経済史・経営史を専門とする東洋大学経営学部の坂口誠准教授が立教大学客員研究員として滞在し、また2015年7～8月の1ヶ月間、本学経済学部と学部間学術交流協定を締結している国立台北大学人文学院の蔡龍保教授が本学の国際学術交流招聘研究員として滞在していたため、多様かつ国際的な視点からの研究を深めることが可能となった。2015年度は、6回の研究会（表1参照：日本関係2、西洋関係2、アジア関係2）、図書資料の購入、資料調査（神戸・名古屋、北九州等）を実施し、歴史部会を軸とした科学研究費・基盤研究（B）および立教大学学術推進特別重点資金（立教SFR）共同プロジェクト研究に関する共同研究の基盤形成を進めた。特に研究会に関しては、これまでの学内の研究者に加えて、学外の研究者による報告を企画し、立教大学経済学部を核とした経済史・経営史の研究者ネットワークの構築を図った。

表1 2015年度「市場の地域性」研究会一覧

NO	項目	内容
1	開催日	2015年 6月23日
	タイトル	「地方型民衆駅と地元資本の思惑」
	講師（所属）	藤井 英明（所属：学習院大学 [非] / 立教大学研究生）
	参加人数	11人
2	開催日	2015年 7月 1日
	タイトル	「ハンブルクを中心とした近世ヨーロッパ大陸商業システム」
	講師（所属）	菊池 雄太（香川大学経済学部准教授）
	参加人数	6人
3	開催日	2015年 7月 4日
	タイトル	「英国福祉国家の社会経済史一家族手当とチャリティの視角から」
	講師（所属）	赤木 誠（松山大学経済学部准教授）
	参加人数	5人
4	開催日	2015年 7月14日
	タイトル	「観光活動から観光産業へー日本統治時代における台湾観光の産業化解析ー」
	講師（所属）	蔡 龍保（国立台北大学教授）
	参加人数	11人
5	開催日	2015年 7月29日
	タイトル	「日本統治時期台湾総督府鉄道部の南進支援ー広東省潮汕鉄道の敷設を例としてー」
	講師（所属）	蔡 龍保（国立台北大学教授）
	参加人数	12人
6	開催日	2015年10月 7日
	タイトル	「肥料統制下の湘南地域」
	講師（所属）	坂口 誠（東洋大学 / 立教大学客員研究員）
	参加人数	9人

2. 研究会概要

■第1回 「市場の地域性」研究会

開催日：2015年6月23日

報告者：▽藤井英明氏（所属：学習院大学〔非〕／立教大学研究生）

「地方型民衆駅と地元資本の思惑」

概要：戦後の国鉄による駅舎建設では、国鉄の資金不足を補うため、駅舎内での商業施設設置を呼び水として民間資本の導入が図られた。こうした国鉄と地元資本が共同で建設した駅は「民衆駅」と呼ばれ、1950年の豊橋駅を皮切りに、国鉄が商業施設に直接投資できるようになった1970年代前半まで全国各地で建設が進められた。本報告では、首都圏において有数の商業地域を抱えた横浜駅を事例として、横浜駅新駅舎建設を巡って、地元商店街がどのように対応したのかを実証的に検討した。

■第2回 「市場の地域性」研究会

開催日：2015年7月1日

報告者：▽菊池雄太氏（香川大学経済学部准教授）

「ハンブルクを中心とした近世ヨーロッパ大陸商業システム」

概要：本報告の課題は、商業システム（商品流通）を軸に近世ヨーロッパの経済成長の全体像を明らかにすることである。具体的な論点（テーマ）として、①近世ヨーロッパ商業とハンブルク、②近世ドイツ商業の経済的・制度的条件、③中世～近世ドイツ商業構造の変化を取り上げ、それぞれの論点整理および一次資料に基づく考察を行った。結論では、①中央・東欧方面のゲートウェイとしてのハンブルク、②アムステルダム・システムとハンブルク・システムの関係、③近世ドイツ特有の商業条件を背景とした商業システム、など複数の課題が提示され、報告者の今後の研究の展望が示された。

■第3回 「市場の地域性」研究会

開催日：2015年7月4日

報告者：▽赤木 誠氏（松山大学経済学部准教授）

「英国福祉国家の社会経済史—家族手当とチャリティの視角から」

概要：本報告の課題は、19～20世紀に登場する「福祉国家」の原型ともいえる英国の福祉国家成立に関して、「家族手当」と「チャリティ」という2つの視点を基礎に、その展開過程を明らかにすることである。具体的には、英国リヴァプールを中心に慈善団体の形成を一次資料に基づき実証的に明らかにするとともに、両大戦間期以降に具体化する家族手当について、その構想から制度設計について検討を行った。

■第4回 「市場の地域性」研究会

開催日：2015年7月14日

報告者：▽蔡 龍保氏（国立台北大学教授）

「観光活動から観光産業へ—日本統治時代における台湾観光の産業化解析—」

概要：本報告は、植民地期（1895～1945年）に展開した台湾観光産業の成立・展開過程を検討したものである。報告の構成は、①日本統治初期に早熟した「観光活動」、②施設の整備と観光活動の多元化、③日本統治後期に於ける「観光産業化」と「観光報国」であり、長期的な視点から、台湾の「観光化」が考察された。結語で示された論点は、①植民地政策によって台湾観光が非常に早いテンポで進められた点、②1920年代に鉄道などの交通インフラの整備により台湾の観光化が地理的に拡大した点、③1930年代に民間旅行会社が台湾で多数設立された点、④戦時期の「観光報国」により変質した点、以上4点にまとめられる。

■第5回 「市場の地域性」研究会

開催日：2015年7月29日

報告者：▽蔡 龍保氏（国立台北大学人文学院歴史系教授）

「日本統治時期台湾総督府鉄道部の南進支援

—広東省潮汕鉄道の敷設を例として—」

概要：本報告は、台湾総督府鉄道部によって敷設された広東省の潮汕鉄道を事例として、鉄道インフラ整備を巡る日本—台湾間、台湾—中国（清国）間、それぞれの動向および関係を検討しようとしたものである。報告では、①清日双方の外交交渉—技師招用・材料提供の独占権取得、②長谷川謹介の積極的関与、③台湾総督府鉄道部と御用会社の協力の3点が論点として提示され、台湾総督府を中心に水面下で進められた清国との交渉過程が明らかにされた。

■第6回 「市場の地域性」研究会

開催日：2015年10月7日

報告者：▽坂口 誠氏（東洋大学経営学部准教授／立教大学客員研究員）

「肥料統制下の湘南地域」

概要：

本報告の目的は、1930年代に深化し、1950年まで続いた肥料統制期における湘南に地域での肥料流通について、山本松五郎家の資料から明らかにすることである。報告の構成は、①肥料統制の進展、②山本松五郎家と肥料統制の対応、③湘南に地域における肥料統制であり、卸売段階を統制した肥料配給公団と小売業務を担当した公団指定の取扱業者に関して、山本松五郎家に残された一次資料から、実証的に検討が行われた。

3. プロジェクト研究に関する学外研究費

①研究課題：「オランダ領東インドにおける日本企業の進出・定着過程」(26590055)

- ・研究費の名称：科学研究費・挑戦的萌芽研究
- ・研究期間：2014～16年度
- ・研究代表者：岡部 桂史（立教大学経済学部准教授）

②研究課題：「戦後日本における自動車流通網の形成過程に関する研究」(00710724)

- ・研究費の名称：科学研究費・基盤研究（C）
- ・研究期間：2014～16年度
- ・研究代表者：菊池 航（立教大学経済学部助教）

③研究課題：「川越商業会議所の設立と展開に関する総合的研究」(26380439)

- ・研究費の名称：科学研究費・基盤研究（C）
- ・研究期間：2014～16年度
- ・研究代表者：老川 慶喜（跡見学園女子大学副学長／教授）

④研究課題：「満鉄社線の対外経済関係に関する研究」(15K17101)

- ・研究費の名称：科学研究費・若手研究（B）
- ・研究期間：2015～19年度
- ・研究代表者：竹内 祐介（首都大学東京都市教養学部准教授）

4. 学内・学外研究費への申請状況

本プロジェクト研究をベースとして、下記の2件を申請した。

①立教大学学術推進特別重点資金（立教 SFR）共同プロジェクト研究

- ・研究課題：20世紀東アジアにおける経済基盤の形成と日本
- ・研究代表者：須永 徳武
- ・研究期間：2015～2016年度
- ・申請金額：6,000千円（2年間）
- ・研究分担者：

岡部 桂史（立教大学経済学部准教授）

菊池 航（立教大学経済学部助教）

老川 慶喜（跡見学園女子大学副学長／教授）

谷ヶ城 秀吉（専修大学経済学部准教授）

竹内 祐介（首都大学東京都市教養学部准教授）

②科学研究費・基盤研究（B）

- ・研究課題：20世紀東アジアにおける経済基盤の形成と日本
- ・研究代表者：須永 徳武

- 研究期間：2016～2018年度
- 申請金額：15,299千円（3年間）
- 研究分担者：
 - 岡部 桂史（立教大学経済学部准教授）
 - 谷ヶ城 秀吉（専修大学経済学部准教授）
 - 老川 慶喜（跡見学園女子大学副学長／教授）
 - 竹内 祐介（首都大学東京都市教養学部准教授）
 - 湊 照宏（大阪産業大学経済学部准教授）
- 連携研究者
 - 島西 智輝（東洋大学経済学部准教授）
 - 菊池 航（立教大学経済学部助教）

担当：岡部桂史（本学経済学部准教授）